



合志の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和8年2月13日（金）No 39 発行
文責：松本 卓也

人生の本番で役に立つ教育とは何か

～スポーツをすることは将来の年収を上げる～

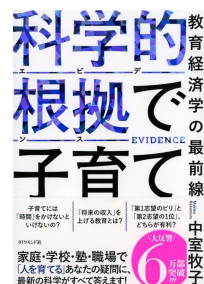
今月6日（金）から22日（日）まで、第25回オリンピック冬季競技大会がイタリアミラノとコルティナ・ダンペッツォで開催されています。日本代表として、121名の選手たちが参加し、熱戦を繰り広げています。7日（土）には木村葵来選手が、10日（火）には村瀬心柊選手がスノーボード・ビッグエアで金メダルを獲得する等、日本選手団の活躍に心躍る人も多いかと思います。

スポーツをすることで、寿命が伸びることやうつ病リスクの低下、生きがいの向上等、さまざまな効果があることはよく知られていますが、「スポーツをすることは将来の年収を上げる」という非常に興味深いことを提案している本に出会いました。

「将来しっかり稼ぐ大人に育てる」方法の1つ目は、子どもたちがスポーツをするよう仕向けることです。子どもの頃のスポーツ経験が将来の収入に良い影響を与えることを明らかにしたエビデンス（科学的根拠）は多くあります。

- アメリカの高校で課外活動としてスポーツをしていた男子生徒は、スポーツをしていなかった同級生と比べて、高校を卒業して11～13年後の収入が4.2～14.8%も高い
- 同じくアメリカの、しかし別のデータを用いた研究では、高校でスポーツの部活動をしていた男子生徒の卒業から16年後の収入が、部活動をしていなかった生徒より21.4%も高い

【引用：「科学的根拠で子育て」中室牧子 慶應義塾大学教授】



子どもの頃のスポーツ経験が大人になってからの収入を上げる理由を、中室教授は、①特に体力が求められる仕事で面接に呼ばれる確率が高くなる等、採用で有利になること、②忍耐力やリーダーシップ、社会性が身に付く等、非認知能力が高いことの2つを挙げています。スポーツをすることで、体力がづくだけでなく、現行の学習指導要領にも明示されている非認知能力の「学びに向かう力、人間性等」の育成にもつながってくるのだと思います。学力だけではない人生の本番で役に立つ教育とは何か？深く考えさせられました。



ようこそ！合志中へ！！

2日（月）、入学予定者説明会を開催しました。各担当からの説明に加えて、新生徒会執行部の各子どもたちが学校生活の紹介を行いました。リporterとして臨む初の大仕事！合志中をよく知ってほしいと、クイズや折り句でユーモアを交えて説明してくれました。（合志中の「う」が牛が近くにいる）でした...（^o^）反応がとてよく、その積極性に感じました。また、保護者の皆様には、スマートフォンやSNS等の安全・安心な利用について学ぶため、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」にも参加していただきました。次年度の合志中も安心です！！6年生の皆さん、伸びゆく合志中を共に創っていきましょう！



命を守ることを最優先に

5日（木）、不審者を想定した避難訓練を実施しました。熊本北・合志警察署よりスクール・サポーターをお招きし、生徒昇降口から不審者が来たという想定で、連絡や避難方法の確認を行いました。訓練後には、警察の方から「注意喚起は笛が有効」「110番してから1、2分で警察が来る。その時間を頑張るといい」等、命を守ることを最優先にした行動をとるようお話がありました。今後も、危機管理の意識を高く持ち、安全・安心な学校づくりに努めます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）